さくらやま便り

No.295 ●2019/4/15

〒241-0802
横浜市旭区上川井町1988
シャローム桜山　施設長 成瀬志津子
TEL. 045-922-7330

平成から令和へ
～新元号によせて～

白石　尚

新しい元号が発表され、5月に「令和」が幕をあけます。天皇主権から国民主権になった今の憲法下では二度目の改元になります。「令和」の出典は従来の中国の古典からではなく、国書（日本古典）の万葉集でした。日本書記ではなく、みんなの歌集である万葉集から採られたことに意味があると思われます。しかし歌そのものではなく、天平2（西暦730）年に、梅花の宴という宴会が開かれた時に書かれた漢文の「序文」「初春令月、気淑風和」から採られています。「初春の良い月に、気は良く風はやわらか」という意味で、春の訪れを喜び、和やかに歌を詠んで楽しみましょうという呼びかけです。

「令」には「戒める」という意味もありますが、令息とか令嬢のように「よい」という意味があります。中国の古典に詳しく、元号の研究でも知られる水上雅晴中央大学教授によれば、世代の「世」という字は、もとをたどれば、「十」が三つ重なって作られたもので、30年を意味するそうです。約30年続いた平成は、まさしく戦争のない平和が成立した時代でした。昭和は戦災、平成は天災があったと言われますが、少なくとも平成は日本が兵を出して、日本人が多く死んだり、他国の人をあやめたりということがなかった時代でした。

「新元号からのメッセージ」という朝日新聞の座談会の中で、国文学者の辰巳正明教授は「令和」では、和が非常に重い意味をもつと思う。聖徳太子の十七条憲法の「和をもって貴しとなす」に返っていくともいえる。和であることによって日本が千数百年生き延びてきた。改めて和というものを考え直し、みんなで大事にしなければならないということではないかと語っておられました。

同じ座談会の中で、歴史学者で国際文化研究センターの磯田道史准教授が、「人類は時間に対してシンボルを当てはめようとする面があり、王の即位何年という言い方で四千年前の古代オリエントですでに行われていた。支配者はいつか死ぬのでこれは有限だ。他方では、60年で一巡する干支のように循環するものも出てきた。そして最後に、西暦のような、無限に続くものも出てくる」と語っておられました。

前述の記事の中で、「日常生活で主に使いたいのは元号と西暦のどちらか」という質問に対して、「新しい元号」が40%、「西暦」が50%という世論調査の結果が紹介されていました。キリストの生誕から今年は2019年、キリストは「わたしは、平和をあなたがたに与える。わたしはこれを世が与えるように与えるのではない」（ヨハネによる福音書14章27節）と言われましたが、まもなく始まる「令和」も戦争のない平和な時代であることを祈りたいと思います。

施設長より

新入生九人が緊張して座っていました。お隣の横浜三育小学校第六十三回入学式です。落合校長先生は「おはようございますの挨拶と、ありがとう」が言えるようにがんばりましょう、と励ましの言葉を贈りました。

朝だ光だまぶしい道だ
遠い山なみ光ってる　緑　緑
亀甲山の緑の丘は
はるかなみ国へ続いてる
ぼくのわたしの明るいひとみ
あすの日本をになってる（略）

在校生が大きな声で校歌を歌いました。七十人のまっすぐな歌声にこれからこの子達が受ける教育、指導、訓練を考えました。十年後、二十年後の日本で仕事をして私達を支えてくれるはずの子供たちです。知徳体の三育教育ですが、一人ひとりの子どもを、知性と品性、教養豊かで健康な自立した大人に育てることができたら、どんな国を作っていくのでしょうか。この子達の健やかな成長のために、争いが無く、お互いが理解しあって支えあう平和な社会が必要ですね。

成瀬志津子

みちびきのみ手

石井政江

永年住みなれた大田区北千束の住居を後にして妹の美枝子と共にシャローム桜山に転居してまいりました。職員の皆様や入居しておられる方々が本当に暖かく迎えて下さって大変心強く感じました。

これからここが私達の住まいとなるのだとあらためて自覚させられた次第です。北千束に洗足池という勝海舟と日蓮上人で名高い池があります。池に面して桜山という小高い丘があり桜の名所として知られています。春になりますと毎年山一面が満開の桜でおおわれます。シャローム桜山という名称はこの洗足池の桜山をすぐに連想させるなつかしい名のホームです。

私どもは、この桜山のすぐ近くにあります大岡山キリスト教会に小学校の頃よりみちびかれ年老いた今日まで慈しみ深いイエス様に守られ支えられて過ごしてまいりました。

このシャローム桜山への入居に関しても、最も良いときに二人が隣同志で助け合える部屋が備えられ「こういうことはめったに無いことです。よろしければ二人一緒に入居したらいかがですか」との連絡を頂き、直ちに入居の決断を致しました。今まで住んでいた家の処分などで実際の引越しまでずいぶん時間がかかりましたが、ひとつひとつ導きをいただきながら今日に至りました。

聖書イザヤ書四十七章三、四節には「あなたは生まれたときから負われ胎を出た時から担われてきた。同じようにわたしはあなたたちの老いる日まで白髪になるまで背負っていこう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い背負い救い出す」との約束の言葉があります。このようなわけで神のみ手に導かれてこのホームに入居致しました。

まだ分からないことばかりでご迷惑をおかけすることも多いと存じますが先輩の皆様、また働き人の皆様、どうぞよろしくお交わりご指導下さるようおねがい致します。

あったかいがいいね

さくらやま文芸

通院の彼方此方の花愛でつ

桜山名に相応しき花の中

青空をさまよへるかに飛花落花

山裾や最寄りの寺の花万朶

令和なる新元号や万愚節

松謡

しきしまの
大和の国の
さくら花
朝日に匂ひて
御代をことほぐ

大畑繁雄

さよならの思い出深く

金元知子

私には、三人の姉がある。長姉の誕生日に長姉の所に集まる提案をした。家で夫の老々介護中の二人の姉は、「とても手が離せないのと、自分も体調悪く出来ない」と言った。「昼間一時間あまりだけ、昼食代を会費として是非来てほしい。四人揃って集まれるのは今しかない。」私自身夫と息子を亡くし体調を崩していた時であった。

願い通り四人集まって「ワァー」と全部で抱き合った時の嬉しさとあたたかさは忘れられない。食事を共にし、写真を撮り、昔の歌を皆で歌った。おたがいに葬式にも出ない、香典のやりとりもしない約束もした。

手紙や声は聞いてもその後会う機会も無く、百歳に近い義兄二人と、二人の姉は亡くなり、一人は車椅子になって外出しにくくなっている。

「今を生きる」とは、思った事をすぐに実行することだと思っている。矢の如く過ぎる時間を捕まえることだと思っている。悲しみの中にも悔いはなく思い出はあたたかく存在しています。

↑新元号　決定

3月16日（土）アンサンブルYY　ミニコンサート
オペラの今牧香乃さんを迎え、ピアニスト大木雅子さん、歌　石渡陽子さん・山本洋子さんです。
春の歌のほかに、前回のリクエスト美空ひばりの名曲を楽しく歌いました。
次回も皆様からのリクエストをお待ちしています。

←３月27日
シャローム横浜・桜山
合同地震火災避難訓練↓